

1 onは表面、inは囲まれた場所

前章で述べたように、英語のネイティブスピーカーは時に驚くべき方法で空間と動きを分類します。実際、他の言語を話す人たちにとっては必ずしも論理的に思えない方法で。

英語のネイティブスピーカーにとって、目は「**囲まれた場所**（一種の穴）」ですが、鼻は「**表面**」です。顔は「**囲まれた場所**」ですが、頭は肩がそうであるように「**表面**」であり、胃は「**囲まれた場所**」です。（以下、「**囲まれた場所**」は簡単に「**囲い**」と表します）

on と in という単語は非常に幅広い意味と用法があります。

on は表面と関わりがあります。in は囲いと関わりがあります。さらに「**囲い**」には二次元の**囲い** (in the field 野原で) と三次元の**囲い** (in the house 家の中で) があります。

この**英語のネイティブスピーカーの視点**が**実際の文**でどのように**機能するか**を見てみましょう。

- I put my contact lenses **in**. ⇨ **in to** enclosures [my eyes]
「私はコンタクトレンズを入れた」 ⇨ 囲い (私の目) の中に
- I took my contact lenses **out**. ⇨ **out of** enclosures [my eyes]
「私はコンタクトレンズを外した」 ⇨ 囲い (私の目) の中から
- I have my contact lenses **in**. ⇨ **in** enclosures [my eyes]
「私はコンタクトレンズを入れている」 ⇨ 囲い (私の目) の中に
- I put my glasses **on**. ⇨ **on** a surface [my nose]
「私は眼鏡をかけた」 ⇨ 表面 (私の鼻) の上に
- I took my glasses **off**. ⇨ **off** a surface [my nose]
「私は眼鏡を外した」 ⇨ 表面 (私の鼻) の上から
- I have my glasses **on**. ⇨ **on** a surface [my nose]
「私は眼鏡をかけている」 ⇨ 表面 (私の鼻) の上に

- Tony hit me **in** the face. ⇨ **in** an enclosure
「私の顔を叩いた」 ⇨ 囲いの中に
- Tony hit me **on** the head. ⇨ **on** a surface
「トニーは私の頭を叩いた」 ⇨ 表面の上を
- Tony hit me **on** the shoulder. ⇨ **on** a surface
「トニーは私の肩を叩いた」 ⇨ 表面の上を

衣服に関わる句動詞を考えてみれば、表面と囲いの重要性、そして、その2つと句動詞との関連性を簡単に理解できます。

私たちは自分の身体の上^にに服を置くことができます：

- I put my hat **on**. 「帽子をかぶる」

自分の身体 (の上) から衣服を取ることができます：

- I took my tie **off**. 「ネクタイを外した」

服 (の中) に入ることができます：

- I got **into** the sweater. 「そのセーターは入った [サイズが問題ない]」

そして、私たちは服を脱ぐ (服の中^{から}出る) ことができます：

- I slipped **out of** my evening dress. 「イブニングドレスをさっと脱いだ」

衣服に関わる句動詞は第13章で改めて詳しく扱います。

2 on と in の基本的な意味と句動詞の関係

ここで私が注目したいポイントは、パーティクル **on** と **in** の基本的な意味である「**表面**」と「**囲い**」が句動詞にどの程度まで引き継がれているかということです。例えば、